

JFMAウィークリーセミナー

【WS0439】2014年 5月 7日 開催

[JFMA賞シリーズ-1]

アジアパシフィック地域におけるソニーのワークスタイル改革の展開の諸活動

講師：ソニーコーポレートサービス(株) 山田 教彰 氏

<概要>

2000年以降、アジアパシフィック地域のソニーグループで行った一連のワークプレイス改革の実例。賃料上昇と社員満足度の低迷を解決すると同時に、社員・マネジメント層のチェンジマネジメントも目指した。アジア地域での強い所有意識を乗り越え、全員着席可能なフリーアドレス導入、在宅勤務の本格導入などにより、利用者満足度も大幅改善。現状データの見える化、全員参加型ワークショップ開催、賃借面積削減など、FM手法が活用され、業績向上にも大きく役立っていることを改めて伺うことができました。

ワークプレイス改革にあたっては、「生き活きと働くオフィス」を社員自らのこととして認識し、参画型のワークショップで議論を深め、パイロット・オフィスで改革を見える化を図り、合意形成に役立てるなど、ワークプレイス改革は会社のミッション」という意気込みが強く感じられました。

まさに経営としてのFMを認識したご講演でした。(稲田祥)



JFMAウィークリーセミナー

【WS0440】2014年 5月26日 開催

[JFMA賞シリーズ-2]

つくばオフィスにおけるFMの取り組み 【見学会】

講師：インテル(株)コーポレート・サービス・東アジア マネージャー 大森 崇史 氏

<概要>

つくば市東光台のインテルつくば事業所を見学させていただきました。

半導体を通じて、人々の仕事と生活をさらに豊かにする先進的な技術と製品を開発、提供している同社オフィスは、社員の業務環境に配慮した広く綺麗なカフェテリアがあり、また執務区間も机がパーティションで囲まれており、静かで落ち着いた空間づくりをしていると同時に、執務机が全て昇降できる仕組みとなっており、椅子に座って利用したり、或いは立って利用できる高さまで、電動で高さを変えることができる先進的オフィスである印象でした。

これらのはつくば事業所における長年の継続的FMの好事例であり、2011年の東日本大震災の被害復旧を兼ねて進められた新ワークプレイス戦略の導入による働き方とワークプレイスの改善に根ざすものです。

5年間で社員の満足度が61%から88%まで向上するなど、インテルFM部門の中長期戦略の一つ「Best Place to Work」が見事に実現されており、FMアウトソーサーと一枚岩になってのFMサービスも見事で、継続的な質の高いFM活動に触れることができました。（稲田祥）

